



教育センター・育成センター所報

GALILEI



雪蛍

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版(カラー)は
「柏崎市教育情報支援システム」
を検索し、トップ画面右上の
「GALILEI」をクリックすると閲覧で
きます。

平成 22 年 3 月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

3月号 CONTENTS



○ 今月の巻頭言	センター利用ありがとうございました 柏崎市立教育センター所長 中山 博迪	1
○ 教育センターだより		2
● アクセス(教育研究班)		2
	21年度教職員専門研修講座終わる、強い熱意と優れた教育実践	
● プロジェクト K(教育研究班・科学技術教育)		6
	平成22年度の準備をしましょう	
● 心の窓(教育相談班)		8
	21年度 総括 ～教育相談班～ エールバンドコンサート、食べることは生きること	
○ 青少年育成センター通信		11
	熱心な育成活動続く、市民会議の講習会	
○ 所員随想つれづれ「祖母が育てた里芋」 栗田 明廣		13
○ 教育センター4月の予定		14
○ 教育センター2月の利用状況		15



◆ 4年に一度のスポーツの祭典、「冬季オリンピック」が多くのドラマを残して終わりました。

私の教え子の一人に女子アルペンスキーで活躍しているHさんがいます。教頭時代に2年間、Hさんのクラスの体育を持たせていただきましたが、小学生の頃からすでに非凡な才能を開花させ、やがて日本を代表するアスリートに成長しました。そして4年前の「トリノオリンピック」では、出場した競技の中では日本人トップの成績を残しています。

今回も「出場間違いなし」と期待していましたが、度重なるケガなどもあり、オリンピックの出場基準をとうとうクリアできず、代表には選ばれませんでした。今は、気持ちを切り替え、来年の「世界選手権」、そして4年後の「ソチオリンピック」を目指していると聞いています。

さて、人の一生にはスポーツに限らず“成功体験”や“失敗体験”がつきものです。挫折もたくさん経験しながら成長していきます。そんな中、大きな夢をか



かげ幾多のハードルを乗り越えようと努力している若者が、世の中には数多くいます。たまたま運がよく、日の当たる場で活躍でき、その実績が脚光を浴びる人もいれば、逆にそのような場には恵まれず一生を終える人もいます。生前は全く無名だったにもかかわらず、死後その実績が評価され一躍有名になった人も、歴史をひもとくと何人もいます。

早いもので平成21年度も残りわずかとなりました。この1年間、各学校で取り組まれた教育をとおして、児童生徒は新たな知識や知恵を身に付け、また様々な成功・失敗体験を繰り返し、心も体も一段と成長したことでしょう。

先日、今年度末で長い歴史に幕を閉じる上米山小学校と北条南・北条北小学校の閉校式に出席させていただきました。地域に根ざした特色ある教育を実践され、多くの卒業生を世に送りだした3つの小学校の教職員の皆さん、長い間、本当にお疲れ様でした。3校の新たな旅立ちに乾杯！(nh)

センター利用ありがとうございました

柏崎市立教育センター

所長 中山 博迪



平成21年度がまもなく終了しようとしています。この1年間、大変厳しい財政事情の中、限られたスタッフで「教職員研修と教育相談」を運営の2本柱としながら、各種事業の推進に努めてまいりました。

今年度は、全体的には講座等で大変多くの教職員の皆さんにセンターを利用させていただきました。専門研修講座は計131回実施し、延べ2501人が受講されました。柏崎市刈羽郡の小中学校に限っていいますと、昨年度は一人当たり平均2.4回の参加でしたが、今年度は3.0回と大幅に増えています。また中学校はすべての学校で、昨年度の実績を上回りました。もちろん「センターの研修」がすべてではありません。研修スタイルも多様です。一人でもできますし、各種研修サークルもあります。決して強制とはいいいませんが、他の市町村と比べても遜色のない当センターを大いに利用され、柏崎刈羽の子どもたちのために、そして自分自身のために更なるスキルアップを図っていただきたいと願っています。私たちも今年度の反省を踏まえて、さらに講座の中身を充実し、魅力あるものしていきたいと考えています。

教育相談班は、昨年度より1名増の10人で業務に当たりました。全体的には増員になった分、運営自体は楽になったといえます。しかし相談事例が年々、複雑化、重症化しており、子どものおかれた厳しい状況、家庭の閉塞感など問題解決には多くの時間とエネルギーを要する相談事例が増えています。教育相談の更なる充実と併せて、市全体としての予防法的な取組も積極的に進めないと、相談事例はますます深刻化する気がしています。

さて全国で唯一新潟県のみが運営し、理科教育の充実・発展に大きく貢献してきた「地区理科センター」が、来年度から大きく変わろうとしています。県は長年続いてきた「専任所員派遣制度」を今年度末で廃止し、学校籍の「センター協力員」（原則、午前は所属校、午後は教育センター勤務）と県費の「嘱託専門所員」（平成22年度より3年間配置、1日6時間勤務）で理科センターを運用することになりました。「地区理科センター」そのものは維持されますが、今までのようなフットワークのよい支援・サポートは、難しくなることも予想されます。なるべく今年度の事業計画を踏襲いたしますが、新しいスタイルでの運営となるため、事業内容等の見直しも併せて行っているところです。

柏崎市は今年度、教職員用として新たに700台のコンピュータを配備しました。「校務の情報化」を進めるために「1人一台環境」が整いました。1月から2月にかけて「校務支援システム（スクールオフィス）」の講習を数回行い、それを受け各学校でも校内研修をしたりして、徐々に「校務の情報化」の取組が始まりました。それと平行して教育センターには連日のように、システムの使い方などの問い合わせがきています。新たな取組を始めるには、多大な労力と時間を要しますが、ICTの活用で情報の共有化を進め、事務の効率化を図り、教職員が子どもたちに向き合う時間を少しでも確保し、より確かな学力の定着が図られるようにしていきたいものです。

No.100	平成 22 年 3 月 19 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
--------	--------------------	------------	--

21 年度教職員専門研修講座終わる

今年度の研修講座も全て終了しました。約 2500 名というたいへん多くの方からの参加をいただき、ありがとうございました。みなさんからお寄せいただいた感想やご意見をもとに、来年度もよりよい研修講座の企画・運営に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

教科・領域	研修概要	回数	受講者数
国語	国語教科指導法Ⅰ・Ⅱ, デジタル教科書, 松浜中研究会	4	141
社会科	社会科教材研究, 市内文化財巡り	2	63
算数・数学	小学校示範授業, 算数科授業改善講座, 数学教材研究Ⅰ・Ⅱ	4	96
理科	小学校単元×(18), 中学校単元×(5), 小・中共通×(7) ※教員のみを対象とした講座を科学技術教育事業より抜粋	30	276
生活科	楽しいおもちゃ	1	25
音楽	歌唱実技講習, マーチングバンド講習	2	52
図工・美術	児童画指導法	1	35
保健体育	ニュースポーツ	1	25
技術・家庭	環境に配慮したくらし, 中学校技術科教材研究	2	21
英語	小中連携英語教育、小学校外国語活動	2	95
道德教育	教科等における道德教育, 比角小研究会	2	118
特別活動	体験活動プログラム、学級集団づくり	2	70
生徒指導	ケータイ・ネットトラブルとその対応, クレーム対応, 生徒指導事例検討Ⅰ～Ⅲ 不登校への支援, 保護者への相談	7	99
同和教育	同和教育現地研修, 学校における人権・同和教育	2	91
進路指導	いきいきゲーム体験講座, 学校におけるキャリア教育	2	37
学校事務	学校事務研修Ⅰ・Ⅱ, 文書事務	3	70
食育	食育授業講座Ⅰ・Ⅱ	2	32
学校保健	性教育, 救急法, 保健指導教材研究, AED 実技講習Ⅰ～Ⅲ	6	257
特別支援教育	発達障害児童生徒への支援, WISC-Ⅲ入門, 事例検討, 特別支援教育体制づくり	4	170
学校経営・教育課程	管理職ミドルリーダーのための ICT 活用, 田尻小研究会	2	122
図書館教育	新学習指導要領と図書館運営	1	18
教育論文	論文の書き方	1	21
学校園連携	子どもの虐待防止について	1	48
総合的な学習	総合的な学習の時間における授業構成, 環境実践プログラム, 川での投網体験, 海岸巡検(中止)	4	60
情報教育	校務の情報化、情報教育、セキュリティ関連	43	459
計		131	2501

強い熱意と優れた教育実践！！

平成21年度若手教員研修サポート事業終わる



昨年度までは、算数・数学研修員に限られた中で行っていたこの事業、今年度からは、各教科・領域に拡大をして新たにスタートをしました。国語4名、社会1名、算数・数学5名、理科2名、体育1名、外国語活動1名、特別支援教育1名、学級経営2名の合計17名の今年度の研修員は、教職に就いて1～2校目の若い先生方です。皆、「教師の仕事に対する使命感と誇り」「子どもに対する愛情と責任感」「常に学び続けようとする向上心」を持ち合わせ、熱心に研修に励んでいました。昔から、最初の1～2校目で、“先輩からどのような指導や刺激を受け、どのような学級経営や教科指導を実践し努力したかが、その後の教職人

生の方向を大きく左右する“と言われていています。17名の皆さんにとっては、まさに研修意欲に溢れる実践と、その実践を振り返り研究論文や実践記録としてまとめあげることとおして、着実に教師としての指導力向上が図れたことと実感します。研修生の強い熱意と優れた教育実践に心から敬意を表するとともに、今後の教師としてのさらなる成長に大いに期待します。

研修を終えて ～研修生の感想から～

- 指導案検討そして授業公開ありがとうございました。関原先生からは、どの活動もなぜそれを学ばせるのか、誰に伝えるのか（相手意識をもたせることの大切さ）を教師自身が明確にして行うことが大切であることを教えていただきました。とにかく子どもたちは楽しい活動が好きであることに気付かされ、でも楽しいだけではなく子どもに学ばせたいことを明確にして学ばせられるような授業作りに今後も努めていきたいです。
- 教員も4年目に入り、授業の流れなど自分なりのやり方ができた一方、さらに工夫するためにはどうしたらよいのか悩んでいました。そんな時にこの事業で、笠木先生に教材研究から授業について、基本を思い出させられ、今の自分にとっての課題をご指導いただいたことはこれまでの自分を振り返る上で非常に良い機会となりました。常にねらいを意識して授業をする、子どもの考えを引き出しつないでいく、ということを今後も忘れずに研修していきたいです。
- 今回若手研修を受けて、じっくりと自分の課題に取り組むことができたと思います。初任校を終え、2校目ということで、これからは与えられた課題だけでなく自ら課題を設定し、自分からそれを解決する場を求めていくことが大切だと思いました。指導担当の吉田先生には、年間3回も授業を観てもらいました。お忙しい中にもかかわらず沢山のアドバイスをいただき、今後の課題もたくさん見つかりました。ありがとうございました。
- 矢沢先生からは、2回の授業実践をもとにご指導いただき、今の私自身に足りないものがたくさん見えてきました。一人一人、考え方や疑問に思うことが違う中で、いかに生徒の困り感を見極め、発散させることができるかなど、授業におけるポイントを再認識できました。また、そのポイントを達成するために手立てがあり、発問があり、といったことを意識した教材研究が必要であると気付かせていただきました。そして、発問に対する生徒の反応を予測しておくことの大切さがよく分かりました。今後は、授業中の生徒の発言をどう全体に返していくのかということを考え、生徒にとってよい授業を展開していきたいです。



○職員数が少ないため、分掌に追われる毎日でしたが、自分の授業力の向上を目指し、思い切って研修に参加しました。栗田先生からは、授業を作る際のポイントを細かく指導していただき、お陰様で自分なりの思いをもって授業することができました。

また、自分が指導してきたことを振り返るために論文を書き、何度も指導していただきました。手立ての有効性を分析する際には、何を意図して設定し、どういう手立てをとり、子どもがどう変化したのか、指導を受けながら、自分で考えていくうちに自分の研究の目的を整理してまとめることもできました。自分では気付かない視点を与えてくださった栗田先生に大変感謝しています。ありがとうございました。



○山本先生には今年度の若手教員研修サポート事業、二田小の研究など様々な場面を通して御指導をいただきました。初めての高学年、初めての外国語活動に不安もありましたが、試行錯誤をし、それに御指導いただいたことで多くのことを学ばせていただきました。今回の研修での成果・課題を明確にして、今後に生かしていきたいと思います。一年間ありがとうございました。

○3回も授業を見ていただき、その都度課題と意欲をもつことができ、本当によい機会になりました。池田先生が適切にご指導してくださったので、子どもたちの現状に向き合い、もっとこうしたいと意欲がもてました。また論文にまとめていく作業を通して、自分の考えを整理することができました。書くことを続けていくことで、自分の力になるのだと思います。今後も自分の学級経営や教科指導に対して、まとめる活動をしていきたいです。

平成 22 年度も応援します！！



□「若手教員研修サポート事業」(学校教育課) 募集要項

1 目的

「授業力をつけたい。」「教科の専門性を高めたい。」「学級経営の力をつけたい。」「生徒指導等で悩んでいる。アドバイスがほしい。」等、そんな研修意欲のある若手教員の皆さんに個別のサポートをし、資質・指導力を伸ばすことを目的とする。

2 対象

教職経験2年～6年の教職員 (募集人数は15名程度)

3 講師

指導主事、嘱託指導主事

4 研修の進め方

(1)研修期間は、一年間とする。

(2)研修内容、日時、場所、回数等は、受講者の希望を尊重し、柔軟な研修計画で行う。

(3)講師が学校に出向き、授業や教材研究、学級経営を中心とした実践的な指導をマンツーマンで行う。

詳しい要項や申込み方法については、新年度に入ってから各校に案内が配布される予定です。

問い合わせは、柏崎市立教育センター教育研究班までお願いします。

945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31

TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610

スクールオフィス情報

H22 年度から「文書管理サブシステム」の暫定運用がスタートします。市教委や教育センターから学校宛に出される文書や市内の学校間でやりとりする文書については、受理を要する場合の場合は「スクールオフィスの文書管理サブシステム」を利用することになります。3/10 に事務職員向けの説明会を実施させていただきましたが、その際のテキスト・資料を教育センターコンテンツサーバに登録してありますので、ご活用下さい。(スクールオフィストップページの共通リンクからアクセスできます)

The screenshot shows a web interface for the school office system. At the top, there is a 'リンク' (Link) section with three dropdown menus, all set to 'すべて' (All). Below this is a list of links under the heading '学校間共有リンク集'. The first link is '★ 共通リンク' (★ Common Link), which is highlighted with a blue bar and a callout box saying '①ここをクリック' (Click here). Below it are '柏崎市教育情報支援システム' and '教育センターコンテンツサーバ'. An arrow points from the '教育センターコンテンツサーバ' link to a new page. This page has a blue header with 'contents_server@kec' and a sidebar with links: 'ホーム', 'スクールオフィス', 'アクションプラン', and '情報モラル指導資料'. A callout box says '②ここをクリック' (Click here) pointing to the 'スクールオフィス' link. Below the sidebar is a section titled 'H22/3/10公開 文書管理サブシステムテキスト' (H22/3/10 Release Document Management Sub-system Text). It contains a table with three rows of documents.

資料名	形式・サイズ
文書の流れ.pdf	PDF 111KB
NO3 文書管理システムの利用.pdf	PDF 1.0MB
NO3 文書管理システムの利用受理後処理抜粋.pdf	PDF 367KB

セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、3月10日付で3月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能をONにする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにして下さい。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	深刻度
1	MS10-016 Windowsの重要な更新	Windows ムービー メーカーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (975561)	XP: ムービーメーカー2.1 Vista: 同 6.0.2.6 Windows 7: 同 2.6	重要
2	MS10-017 Excelの重要な更新	Microsoft Office Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (980150)	Excel 2002(XP),2003,2007, 互換機能パック, Office 2004 for Mac, Office 2007 for Mac など	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

平成22年度の準備をしましょう

移行2年目。新たに追加になる内容、削除になる内容を確認し、新年度に備えましょう。

☆小学校

第3学年 … 平成21年度と同様

第4学年 … 平成21年度と同様

第5学年 … <追加内容>

○**天気の変化**

・雲と天気の変化

○**流れる水のはたらき**

・川の上流、下流と河原の石

<削除内容>

○**天気の変化**の中の小項目

・天気と一日の気温の変化

第6学年 … <追加内容>

○**てこの規則性** (第5学年より移行)

・てこの利用

○**電流のはたらき**

・発電や蓄電、発熱、電気の利用など (H21年度は発熱のみ)

○**生きものと自然かんきょう**

・食べ物による生物の関係



☆中学校

第1学年 … 平成21年度と同様

第2学年 … <第1分野の追加内容>

○**電流とそのはたらき**

・電流が電子の流れであること

・電力量、熱量

・直流と交流の違い

○**化学変化と原子・分子**

・化学変化と熱 (第3学年より移行)

・酸化と還元 (第3学年より移行)

<第2分野の追加内容>

○**動物たちの世界**

・生物と細胞

・無脊椎動物の仲間

(節足動物や軟体動物の観察と脊椎動物との比較)

・生物の変遷と進化

(進化の証拠や具体例 生息環境での生活に都合のよい特徴)

○**天気とその変化**

・水の循環

・日本の天気の特徴

・大気の動きと海洋の影響

(大気の動き・地球の大きさや大気の厚さ)

第3学年 … 平成21年度と同様 (平成23年度に追加内容・移行内容あり)



理科準備室の整理整頓、よろしくお願いします

実験器具が理科準備室のあちこちに出っぱなしになってはいないでしょうか。水溶液をペットボトルに入れて保管しているようなことはないでしょうか。

- ・薬品については、ペットボトル等への保管は行わず、また試薬瓶は薬品庫へ戻すとともに薬品台帳への記載 (使用量と残量) をお願いします。
- ・実験器具は次に使うことを考え、きれいに洗浄して、使いやすく整頓しましょう。通常の洗浄では、集気ビンなどに付着した白い汚れや、染色液による汚れはなかなか落ちません。理科主任の先生を中心に、作業日を決めて計画的に実施していただけたらと思います。器具の取扱い等、ご不明な点があればいつでもお問い合わせください。

年度当初に準備が必要な教材は？

特に小学校で使用する教材は、ゆとりを持って準備をすることが必要となる物が多くあります。例年のことではありますが、年度当初の単元に必要なもの、また栽培に関するものなど、教材のチェックをしましょう。

例 3年生

- **キャベツ苗**…モンシロチョウに卵を産ませます。なくならないうちに早めに苗を入手しておきます。
- **ヒマワリ,ホウセンカの種**…授業で最初にするのが種まきです。種まきの時は、水につけるなどして発芽率を高めましょう。
- **棒温度計,虫めがね,遮光ガラス,方位磁針**…壊れているものがないか確認し、数を補充しておきましょう。方位磁針は、南北が反対になっているものを直しておくことも必要です。

4年生

- **ヘチマ,ダイズの種**…ヘチマは発芽率が良くない場合があるので、予備を多めに植えておくことも大切です。
- **温度計,百葉箱,(自記記録温度計)**…棒温度計は、3, 5年生でも使います。割れているものがないか、液切れしているものがないか確認しておきましょう。

5年生

- **インゲン豆,ヘチマ,キュウリの種**…インゲン豆はつるなしのものを準備します。ヘチマ,キュウリは7月の単元ですが早めに育てておきます。(受粉の実験に使うので苗を準備しても良いです。)
- **百葉箱**…箱自体だけでなく、中の温度計も壊れていないか確認しておきます。
- **メダカ,水草**…メダカは飼育用具が必要です。特に飼育水槽にはメダカを入れる数日前から水を循環させておくようにしましょう。
- **ヨウ素液**…ポビドンヨードを使用したうがい薬を薄めたものでも代用できます。褐色のビンに入れ、冷暗所で保管しておきます。

6年生

- **種イモ(ジャガイモ)**…ホームセンター,種苗店で売っているものを使います。(人気のある品種の種イモは早い時期に売り切れてしまうことがあります)
- **ロウソク,マッチ,線香**…入手は簡単ですが、思った以上に数が必要になることがあります。事前に準備し、しっかり管理しておきましょう。
- **燃焼さじ**…ロウソク立てが取れていたり、曲がって使いにくくなっていたりするものがあります。数も確認しておきましょう。
- **集気ビン(底あり,底なし)**…割れているもの、ヒビの入っているものは使えません。白い汚れは薄めた塩酸で洗うときれいになります。フタはガラス製のものは使えません(無い場合は、木片とアルミ箔で自作しておきます)。
- **石灰水**…専用の容器を決めて、作り置きしておくとう便利です。急ぐときは石灰を混ぜた水をコーヒーフィルターでろ過すると良いでしょう。
- **実験用気体ボンベ**…酸素,二酸化炭素,窒素×班の数+2~3本
- **気体検知管**…酸素,二酸化炭素用を予備も含めて、少し多めに準備しておきます。
- **エタノール**…葉の色を脱色するときに使います。飲用毒性のあるメタノールは児童には使用させないようにしてください。

年間の野外観察等の予定を検討しましょう

年間を見通して、地層観察会や星空観察会などの日程を検討し、年間計画に仮予定を入れておきましょう。

昨年 of 皆既日食に続き、2010年は皆既月食(12月21日)もあります。年度初めだからこそ年間の予定に組み込める、といったこともあるのではないのでしょうか。

また、そろそろ春の草花が顔を出しはじめ、判別しやすい時期になってきました。子どもたちを野外に連れ出す学習は目前です。学校周辺の植物の下調べをしておくことも大切な準備のひとつです。不明な植物があれば、お問い合わせください。



平成22年 3月19日

心の窓 (教育相談班だより)

No 127

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL (代表) 23-4591
(Fax) 23-4610

21年度 総括 ～教育相談班～



【21年度 カウンセリングルームにおける傾向と課題】

21年度のカウンセリングルームの来室相談は、2月末時点で247名680件となり、前年同時期の229名747件を人数で上回りました(昨年度比8%増)。そのうち、不登校に関する相談が最も多く、次いで、発達障害(通常学級)、となっています。不登校に関しては、昨年度から引き続き小学生が増加しているのが当市の特徴です。発達障害に関しては、未受診・未診断のケースで集団不適應を起こして来談するケースが多くなっています。

カウンセリング以外にも、いろいろ体験グループ(発達障害の子どものためのSST)、就学相談における発達検査・知能検査実施、学校訪問によるコンサルテーション、家庭訪問、等にも対応してきました。

相談事例の傾向としては、重症化・複雑化が挙げられます。①不登校や集団不適應の背景に発達障害や精神障害が疑われる事例の増加、②要保護家庭や(虐待を含む)機能不全家庭の増加、③学校への不信・批判を向ける保護者(学校と保護者との関係こじれ、好訴)の増加、などが今年度は顕著でした。カウンセリングを担当する相談員の高度な専門性及び外部の専門機関(福祉機関・医療機関)との連携が一層必要になってきています。それに伴い、相談員の肉体的・精神的負担は年々増えています。

(1) 年代別面接件数【()内は新規人数】

	幼 児	小学生	中学生	高校生	教員・一般	合 計
面接件数	55 (30)	346 (114)	246 (77)	2 (2)	31 (24)	680 (247)

(2) 内容別面接件数【()内は新規人数】

	就学 相談	通常学級 発達障害	特支学級 発達障害	不登校	いじめ	非行	集団 不適應	心身の 不調	情緒・精 神の障害	親子関係 の問題	その他	合計
面接件数	55 (30)	121 (66)	56 (28)	331 (79)	6 (4)	10 (4)	11 (6)	48 (12)	9 (4)	27 (10)	6 (4)	680 (247)

【ふれあいルームの活動】

4月に、11人の登録者でふれあいルームがスタートしました。2月の登録者数は19人です。2月28日（中学3年生通級最終日）9人の中学3年生が巣立っていきました。（3月8日が卒業式なので、その日は学校から巣立って行って欲しいという願いを込めて2月で通級を終了し、3月からは学校と連携を密にして卒業式に備えます。）

ふれあいルームでは体験活動を重視しています。人に接することの苦手な子どもたちにとって、ふれあいルームの指導員以外の人たちと接することは有意義なことであり、立ち直りに有効に働きます。国立妙高少年自然の家での宿泊体験では、アドベンチャープログラム、キャンドルサービス、創作活動を体験しました。特にアドベンチャープログラムでは、指導者から「今、この瞬間を生きよう。本当の〇〇さんは、今の姿。みんなの思っている〇〇さんは過去のこと。ここからスタートです。またやったなどという（過去のことを言う）のは無し。」と、過去にこだわらず未来に向って頑張ろうという話があり体験が始まりました。

「相手の気持ちになって考えてやる」「頼るときには全面的に頼っていいだよ」「みんながみんなを支えようと思うと新しい力が生まれる」「皆の力を一つにするにはどうすればよいか」「自分にして欲しいことは言葉に出して言う」「されて嬉しかったことは人にもしてやる」等、体験を通して多くのことを教えていただきました。通級生の親密度も増し、新しい自分を見つけたようです。今年度、特筆することは、通級メンバーで野球チームを作り教育センターの職員チームや知名人野球の教員チームと試合をすることが出来たことです。

「ふれあいルームでどんな力をつけたいのか」、「今の自分の力では、どこまでがんばれるのか」、など学校復帰に向け、自分に適した目標を掲げがんばれるふれあいルームにしていきたい。

（文責 矢嶋 信昭）

【教育電話相談】

教育センターでは、原則として中学生までの児童生徒とそのご家族等を対象として、いじめや不登校等の教育面、また、生活面での悩みについて、専用電話による匿名での相談に応じています。

今年度は、昨年度より減少しているものの、2月末現在で16件の相談がありました。相談者は中学生の保護者が最も多く、次いで高校生の保護者、小学生の保護者、また、中学生本人からの相談もありました。主な内容は、不登校やいじめ、お子さんの気になる行動、学校の対応についての相談でした。また、親子・家族関係に関する相談も数件ありました。相談によっては、当センターのカウンセリングルームやふれあいルームにつながり、相談を継続したケース、また、状況に応じて外部の専門機関や制度等を紹介したケースもあります。

最近、気になるお子さんについての保護者や学校の意識が高まり、直接専門機関につながるケースも多く、教育相談電話の利用件数は減少傾向にあります。しかし、そのような専門機関につながる前の不安や迷い、苦しみを持つ保護者からの相談があり、そういった場の必要性もまた実感しています。思い悩みながら一歩を踏み出して電話を下さった相談者の思いを大切に受け止め、どうすることが状況の改善と安定につながるのかなかを一緒に考えていきたいと思っています。また、それによって相談者自らの力で動き出そうとすることになり、そんな新たな第一歩を応援する存在でありたいと思います。

迷った時、誰かに話を聴いてほしい時、匿名で利用できる教育相談電話をぜひご利用ください。

（文責 長谷川 裕美）



【学校訪問相談】

平成21年度学校訪問相談実施回数は123件です（3/5現在）。今年度は定期訪問を年1回にし、その後は要請に応じて実施してきました。



（1） 定期訪問での相談内容の割合（小学校27校中学校12校）

相談内容	特別支援 (通常学級在籍)	いじめ・ 不登校等	特別支援 (支援学級在籍)	学級経営 学習指導	人間関係	その他
割合	38%	24%	10%	9%	7%	12%

（2） 要請訪問での相談内容の割合（要請件数84）

相談内容	通常学級における特別支援、学級経営・学級指導	登校渋り 不登校	発達障害	ネグレクト	その他
割合	72%	16%	6%	4%	2%

今年度、新たに学校サポート協議会を実施しております。年々、相談・支援ケースが複雑化し、児童生徒の家庭生活や福祉面からのサポートも必要となっており、関係機関等を含めた内外のより緊密な連携が必要となっています。そこで、該当児童・生徒の状況等を話し合い、各機関での支援方法を考え、学校・関係機関で実行し、該当児童・生徒の成長につなげています。参加者（学校：担任・特別支援コーディネーター等、学校スクールカウンセラー、元気館：保健師・家庭児童相談員、教育センター：カウンセラー・ふれあいルーム担当者・学校訪問相談員等）、今年度実施件数16件です（3月5日現在）。

学校訪問相談では、関係機関との連携を図りながら、今後も、学校のニーズにあったより具体的な相談・支援を行っていきたいと考えております。
(文責 笠木 典子)



【家庭訪問相談を通して】

今年度は2名の中学生を対象に家庭訪問相談を行ってきました。

不登校支援のひとつの目標として「元気を引きだし、周囲との関係を育む」ことがあります。当面は「嫌なことを避けても、元気に過ごす」ことが目標となり、次第に「少し嫌なことがあっても、元気に過ごす」ことが目標になります。最近では、本人の発達の問題や家庭の機能不全の問題などが重複し、複雑化したケースが増えています。そのようなケースでは、学校に行けず家庭でも元気に過ごすことが難しいケースが多く、家庭訪問相談を行っても、なかなか進展が見られなかったり、一度も顔を合わすことができないケースもあります。

複雑化、重症化したケースにおいては、本人や家族の心のケアだけでなく、他機関と連携しながら、義務教育期間の枠に捉われず、長期的な目で家族全体を支えていく必要性を感じています。また、義務教育期間が終了した後、どこに、どのように次にサポートしてくださる機関につないでいくかということが今後の課題です。
(文責 長谷川 大)

育成センター通信	0827	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
-------------------	------	---

4月の予定

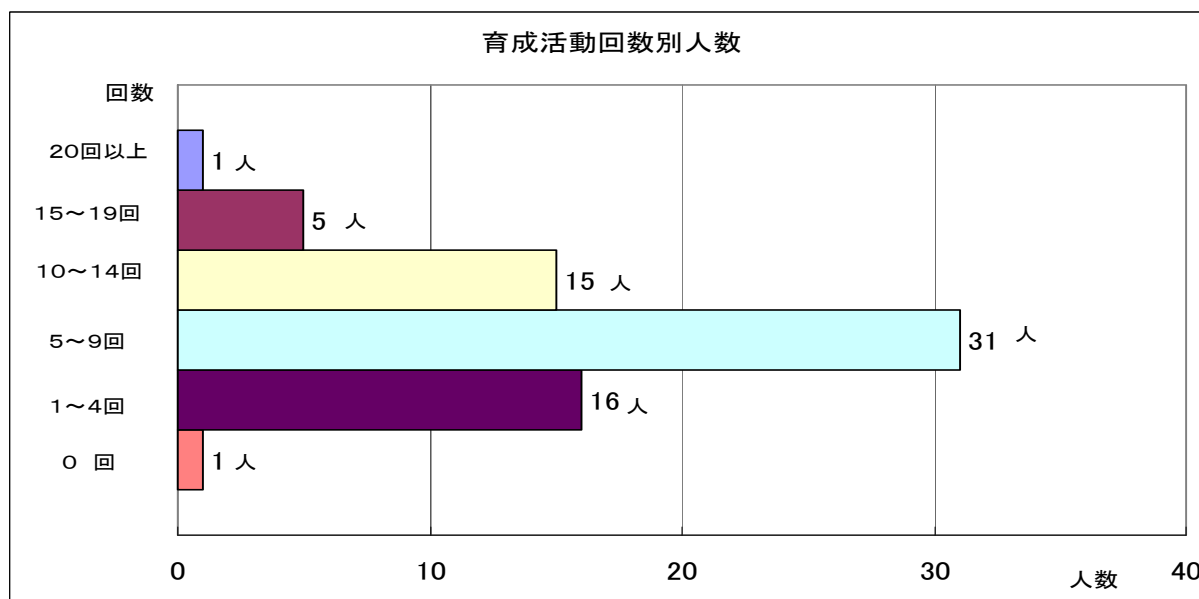
日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
5	月	昼間育成活動（7・8班）			9日～高校下校育成（希望者）
30	金	夜間育成活動（9・10班）			

熱心な育成活動続く！

～育成活動回数別人数の概要について～

昨年6月から今年2月までの9か月間における市青少年育成委員の育成活動回数別の人数についての概要が下図のとおりまとめました。

これによると、多い人では20回以上育成活動に参加している方がいました。月平均で2回以上、育成活動に汗を流していただいていることになります。月平均1回以上参加している人が約4割もいました。一方で1回も参加していただけない人が1人だけで昨年度に比べて激減したことです。青少年育成委員の皆さんは、自らの職業や地域での仕事をもっておられる方がほとんどです。そのかたわら貴重な時間を割いて育成活動にご尽力いただいています。寝食を忘れての活動が市内における青少年の健全育成に大きく貢献しています。



青少年健全育成市民会議の講習会

～ネット遊びの現状とペアレンタル コントロール～

去る2月28日（日）標記の講習会が刈羽村のラピカと市民プラザで開催されました。講師はNPO青少年メディア研究協会の下田真理子さんで、「ネット遊びの現状とペアレンタルコントロール」という演題で行われました。前半では講義、後半では演習がそれぞれ行われました。特に後半の演習では、参加者各自の携帯電話を使って子どもたちがよく利用しているサイトにアクセスすることにより、子どもたちと同じ体験をしました。そこに潜む危険性や落とし穴を実感して子どもたちへの適切な対応の仕方を学びました。

講師の下田さんは、「子どもたちのネット遊びの現状を正しく把握することによって、大人が子どもたちに対して正しく対処できるようになる。」と、強調していました。

また、参加者からは、「子どもたちは、こんなサイトでネット遊びをしているのか、知らなかった。」「サイトに個人の顔写真や個人情報が無防備に載っていて、犯罪に巻き込まれるのではないかと、心配になった。」「学校の先生にも聞いてもらって、PTAの会合で取り上げてほしい。」などの声がありました。両会場合わせて103名の方々が熱心に耳を傾けていました。



情報セキュリティ対策DVDを貸し出します！

情報セキュリティ対策DVD「ココロノスキマ」と「アクセスの代償」が当センターに入りました。貸出しをいたしますので、ご希望の方は下記の所にお出で下さい。（宅配や郵送での取り扱いはいたしません。）

なお、あらかじめ電話でお問い合わせの上、お出で下さい。

柏崎市青少年育成センター

柏崎市若葉町2-31

TEL 20-7601

祖母が育てた里芋

教育研究班嘱託指導主事
栗田 明廣



夕食に小さなハタイモ（里芋の方言）の煮物があった。スーパーで見た大きなハタイモを思い出し、ついいらぬことを言ってしまった。

「うちのハタイモは小さいなあ。」

すると、妻は食べなくてもいいと言わぬばかりに反論した。

「何言ってんのよ。皮をむいて料理する私の方が大変なんだから。それにこのハタイモは特別なんだよ。」

何が特別なのか聞いて、意外なことが分かった。我が家のハタイモがずっと変わらないということであった。結婚当初、畑作りを手伝い始めた時に、妻は実家からハタイモの種芋をもらってきて植えた。そして、その年の秋に収穫した芋の中から良いものを選んで、温かい穴倉で越冬させ、次の年の種芋にして育ててきたのであった。我が家のハタイモは、30年前に妻が実家から持ってきたハタイモが続いているのであった。

さらに、妻が持ってきた実家のハタイモの歴史も長かった。今は80歳を過ぎた義母が嫁に来た時に、亡くなった祖母が育てていた芋を受け継いで育ててきたものとのことであった。すると、我が家のハタイモは60年以上もDNAが変わっていない芋ということになる。

見た目はただ小さいだけのハタイモが、長年受け継がれてきた芋であることを知った私は、何とも言えない感動を覚えた。妻が煮てくれたハタイモの粘りのある柔らかさを、一口一口味わいながら食べた。畑の土質に関係するかもしれないが、我が家のバカイモは粘りが他に比べて強いように感じた。

農家であれば当たり前のことかもしれない。野菜の中でも特に芋類は何年も受け継がれているものが多い。ジャガイモも良い芋を残して、次の年に種芋として植える。バカイモ（長芋のこと）も、上の方20cmほどを切って残し、次の年の種芋として植えている。



現代は、「変革」「改革」「チャレンジ」などの言葉がもてはやされ、時代の要請、環境の変化に応じて、意識改革や新しい取組が必要とされる。しかし、唐の太宗の問い「草創と守成といずれか難き」は、永遠の問いであり課題であるような気がする。

新年度準備の時期。新しいことを始める希望と期待感に夢ふくらむ時こそ、これまでやってきた中で、よさを見つけ、残し伝えることをはっきりさせたいものです。

平成21年度 月間予定表

4月

柏崎市立教育センター

####

日	曜	研修・行事・会議	内部事務・日程等	出張・関係事業等
1	木		所内会議 13:00 辞令交付式 15:00	教職員辞令交付式（市民プラザ）11:00
2	金			
3	土			
4	日			
5	月		招集校長会資料 提出〆切	翔洋中等教育学校入学式（所長）13:30
6	火			北条小学校開校式（所長）9:10
7	水	ふ・通級開始		
8	木		保存文書廃棄 (H16年度分)	
9	金			出・上越地区セン総会1（上越）
10	土			
11	日			
12	月			
13	火			出・県地区理セン代表者会議（長岡：所長）
14	水		広報5/20号〆切	
15	木			市教委招集校長会（一中）9:30
16	金			出・県地区理セン研修総会（長岡）
17	土			
18	日			
19	月			柏刈学校研総会
20	火	科・理科主任会		
21	水			出・全県指導主事会議（矢沢）
22	木			
23	金			
24	土			
25	日			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木	昭和の日		
30	金	科・1分野「電流とその利用」	広報6/5号〆切	
研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター 出・出張 *・施設貸出 【 】は未確定の行事・時間				

H21年度 教育センター事業の参加・利用状況

	研 修 講 座 ・ 事 業 名		10月の 利用数	11月の 利用数	12月の 利用数	1月の 利用数	2月の 利用数	H21年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座　＊		4回	9回	5回	0回	1回	57回	
			56人	388人	289人	0人	40人	1,793人	
	共催研修、研修講座		0回	0回	0回	0回	3回	5回	
			0人	0人	0人	0人	173人	267人	
	学校の要請研修会		0回	0回	0回	0回	0回	0回	
			0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	調査研究員会,教科研修員会		2回	6回	3回	0回	1回	17回	
			2人	6人	3人	0人	17人	57人	
	教育情報化研修講座　＊		2回	3回	3回	5回	3回	46回	
			4人	8人	25人	132人	93人	558人	
情報教育主事の要請支援等		13回	10回	10回	7回	16回	154回		
		95人	162人	50人	161人	179人	1,700人		
その他の相談・利用・参加数		1回	1回	1回	0回	0回	5回		
		15人	20人	16人	0人	0人	54人		
教科書センター利用閲覧数		6人	4人	2人	0人	0人	235人		
教育 研究 班・ 科学 技術 教育	理科研修講座　＊		3回	2回	1回	2回	1回	34回	
			16人	26人	7人	8人	3人	382人	
	学校等の要請研修		3回	1回	0回	0回	1回	15回	
			137人	42人	0人	0人	14人	950人	
	地域の自然研修・観察会		0回	1回	0回	0回	0回	9回	
			0人	45人	0人	0人	0人	381人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		113人	900人	102人	81人	0人	9,647人	
	理科教育の相談・支援		37件	47件	51件	35件	21件	529件	
	理科教材・物品の貸出		151件	3件	235件	1件	26件	1,088件	
(教職員研修の合計)		54人	82人	109人	89人	6人	1,088人		
教育 相 談 班	カウンセリングルーム来室相談		新規相談件数	17件	16件	25件	11件	19件	247件
			のべ相談件数	73件	54件	68件	58件	62件	680件
	学校訪問相談		10回	10回	10回	8回	11回	119件	
	家庭訪問相談		訪問対象者数	1人	1人	1人	1人	1人	15人
			訪問のべ回数	5回	3回	4回	4回	3回	53回
	電話相談		2件	1件	1件	0件	0件	16件	
	ソーシャルスキルトレーニング		5回	4回	6回	4回	4回	43回	
			26人	23人	29人	22人	25人	236人	
	ふれあいルーム在籍人数		小学生	7人	7人	7人	8人	8人	67人
			中学生	11人	11人	11人	11人	11人	105人
	ふれあいルーム通級日数		16日	14日	17日	15日	19日	175日	
	ふれあいルーム通級のべ人数		小学生	31人	34人	42人	30人	70人	335人
			中学生	95人	74人	100人	94人	119人	877人
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		2人	0人	3人	2人	1人	15人		
教育団体， P T A ， 市民等の利用			261人	257人	152人	263人	331人	2,977人	
教育センター事業の参加・利用総数			1,152	2,123	1,211	908	1,206	23,181	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにもガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。

所報「GALILEI」 平成22年3月末日発行

表紙写真撮影 中山 博迪



柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591

FAX 0257-23-4610

E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601

FAX 0257-23-4610

E-mail ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

〒945-0833

新潟県柏崎市若葉町 2-31